

平成 30 年度 市政アンケートモニターへのアンケート

仙台市の広報に関するアンケート

調査結果報告書

平成 31 年 3 月

仙台市総務局広報課

I. 調査の概要

1. 調査の目的

広報紙「仙台市政だより」及び「市政ラジオ番組」、「仙台市広報課フェイスブックページ」について、市民がどのように認識しているかを知り、より有効に活用される広報のあり方について探る。

2. 調査の方法

- (1) 調査の対象 市政アンケートモニター 200名
- (2) 調査時期 平成31年1月
- (3) 調査の方法 郵送配布・回収及びインターネットによる無記名式調査

3. 回収結果

有効回答数 184名（回収率92.0%）

4. 報告書の見方

- ・集計結果の数値を小数点以下第2位で四捨五入しているため、回答比率の合計が100%とならないことがある。
- ・複数回答の設問及び複数回答者のあった設問については、回答比率の合計は100%を超える。

II 調査結果

1. 回答者の概要

問1 あなたの性別をお答えください。

	回答数	構成比
男性	58	31.5%
女性	126	68.5%

問2 あなたの年代をお答えください。

	回答数	構成比
10～20 歳代	19	10.3%
30 歳代	31	16.8%
40 歳代	42	22.8%
50 歳代	25	13.6%
60 歳代以上	67	36.4%

問3 あなたはどちらの区にお住まいですか。

	回答数	構成比
青葉区	54	29.3%
宮城野区	32	17.4%
若林区	23	12.5%
太白区	40	21.7%
泉区	35	19.0%

問4 あなたのご職業をお答えください。

	回答数	構成比
会社員、団体職員等	40	21.6%
自営業(家族従業の方を含む)	9	4.9%
パート、アルバイト、非常勤等	37	20.0%
家事専業	44	23.8%
学生	9	4.9%
無職	38	20.5%
その他	8	4.3%

2. 設問別調査結果と分析

問5 必要な情報を得るため、あなたが普段利用している情報メディアは何ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答数	比率
新聞	123	66.8%
雑誌	65	35.3%
テレビ	158	85.9%
ラジオ	71	38.6%
インターネット	140	76.1%
フリーペーパー(「リビング仙台」、「河北ウィークリー」、「ぱど」など)	134	72.8%
その他	7	3.8%

回答者数=184

○普段、情報収集のために利用しているメディアとして多いのは、「テレビ」、「インターネット」、「フリーペーパー」、「新聞」となっている。

問6 あなたは仙台市や仙台市政に関する情報を何から得ていますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答数	比率
新聞	92	50.0%
テレビ	101	54.9%
ラジオ(市政ラジオ番組以外)	43	23.4%
市政ラジオ番組	11	6.0%
仙台市政だより	168	91.3%
仙台市ホームページ(パソコン・スマートフォン版)	62	33.7%
仙台市ホームページ(スマートフォン以外の携帯電話版)	1	0.5%
仙台市ソーシャルメディア(フェイスブック、ブログ、ツイッターなど)	6	3.3%
市政だより以外の市の印刷物(チラシ、パンフレットなど)	58	31.5%
地下鉄・バスの車内広告・電照広告や掲示板	53	28.8%
窓口や電話等で直接問い合わせる	18	9.8%
特にない	1	0.5%

回答者数=184

○市政情報収集に利用されているメディアは、「仙台市政だより」が圧倒的に多く、回答者の9割以上が利用している。

○「テレビ」、「新聞」は回答者の半数以上が利用している。

○「市ホームページ(パソコン・スマートフォン版)」は前回調査(平成28年12月:26.5%)から若干増加しているものの、3割程度にとどまっている。

○「市ホームページ(スマートフォン以外の携帯電話版)」は、ほとんど利用されていない。

問7 あなたは「仙台市政だより」を読んでいますか。いずれかひとつに○をつけてください。

	回答数	比率
毎月、必ず読む（一部の記事のみも含む）	143	77.7%
必要に応じて読む	28	15.2%
ほとんど読まない	9	4.9%
読まない	3	1.6%
無回答	1	0.5%

回答者数=184

○「必ず読む」、「必要に応じて読む」合わせて 92.9%と、ほとんどの回答者が市政だよりを読んでおり、「ほとんど読まない」、「読まない」は合わせて6.5%にとどまった。

問8-1 あなたは「仙台市政だより」をどのような方法で読んでいますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

（※問7で「毎月、必ず読む」または「必要に応じて読む」と答えた人のみ回答）

	回答数	比率
冊子の市政だよりを読んでいる	171	100.0%
仙台市ホームページ(パソコン・スマートフォン版)から閲覧	14	8.2%
仙台市ホームページ(スマートフォン以外の携帯電話版)から閲覧	0	0.0%
その他(マイ広報誌、点字・音声版市政だより、Youtube など)	1	0.6%
無回答	1	0.6%

回答者数=171

○問7において、市政だよりを「必ず読む」、「必要に応じて読む」と回答した方のうち、全員が「冊子の市政だよりを読んでいる」と回答している。

○「仙台市ホームページ(パソコン・スマートフォン版)から閲覧」と回答した方は1割弱とごくわずかである。

問8-2 「仙台市政だより」であなたがよく読む記事は何ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

(※問7で「毎月、必ず読む」または「必要に応じて読む」と答えた人のみ回答)

	回答数	比率
特集(市政の動きや市民に知っていただきたい情報を紹介)	119	69.6%
市政トピックス(市の事業や行事などの報告)	98	57.3%
3.11 震災文庫を読む	32	18.7%
仙臺まちあるき虎の巻	54	31.6%
ワンポイント防災講座	41	24.0%
ごみ減量・分別のまめ知識	57	33.3%
お知らせ(保健福祉、募集、しごと、講座・催しなど)	156	91.2%
スポーツ情報	55	32.2%
お出かけ情報(各施設からのお知らせ)	108	63.2%
各区のおしらせ	104	60.8%
休日当番医	68	39.8%
古今東西ぐんぐん(郡郡)行きます！	30	17.5%
その他	2	1.2%

回答者数=171

- 「お知らせ」が最も多く、9割以上の回答者がよく読んでいる。
- 「特集」は7割近くの回答者が、「市政トピックス」、「各区のお知らせ」も半数以上の回答者がよく読んでおり、全体的に市政に関する情報をお知らせする記事がよく読まれている。

問8-3 「仙台市政だより」を読まない理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

(※問7で「ほとんど読まない」または「読まない」と答えた人のみ回答)

	回答数	比率
必要な情報は新聞やテレビ・ラジオで得ている	2	16.7%
必要な情報はインターネットで得ている	5	41.7%
必要な情報が載っていない	2	16.7%
興味や関心がない	5	41.7%
内容がわかりにくい	0	0.0%
紙面が読みにくい	0	0.0%
情報量(ページ数)が多すぎる	0	0.0%
その他	3	25.0%

回答者数=12

- 「必要な情報は新聞やテレビ・ラジオで得ている」という方は前回調査(平成28年12月:28.6%)より減少。「必要な情報はインターネットで得ている」と回答した方は、前回調査(平成28年12月:21.4%)より増加している。

問9 現在の「仙台市政だより」についてどう思いますか。

それぞれ、いずれかひとつに○をつけてください。

①文字の大きさ

	回答数	比率
大きい	2	1.1%
ちょうどよい	153	83.2%
小さい	21	11.4%
無回答	8	4.3%

回答者数=184

○文字の大きさは、「ちょうどよい」とした人が8割を超えた。

②ページ数（現在は32ページ）

	回答数	比率
多い	22	12.0%
ちょうどよい	150	81.5%
少ない	5	2.7%
無回答	7	3.8%

回答者数=184

○ページ数については、「ちょうどよい」とした人が8割を超えた。

③読みやすさ

	回答数	比率
読みやすい	150	81.5%
読みにくい	25	13.6%
無回答	9	4.9%

回答者数=184

○読みやすさについては、「読みやすい」とした人が8割を超えた。

④言葉づかい

	回答数	比率
わかりやすい	169	91.8%
わかりにくい	9	4.9%
無回答	6	3.3%

回答者数=184

○言葉づかいについては、「わかりやすい」とした人が9割を超えた。

⑤写真やイラスト

	回答数	比率
多い	0	0.0%
ちょうどよい	142	77.2%
少ない	35	19.0%
無回答	7	3.8%

回答者数=184

○写真やイラストについては、「ちょうどよい」とした人が8割弱であった。一方で、2割弱の回答者が「少ない」と回答した。

問10 現在の「仙台市政だより」の印象についてどう思いますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答数	比率
役に立つ	141	76.6%
親しみやすい	63	34.2%
わかりやすい	97	52.7%
楽しい・面白い	17	9.2%
内容がかたい	41	22.3%
つまらない	14	7.6%
表現が難しい	9	4.9%
その他	7	3.8%
無回答	3	1.6%

回答者数=184

○市政だよりの印象としては、「役に立つ」が最も多く、次いで「わかりやすい」であった。

○前回調査（平成28年12月）と比べ、「親しみやすい」（34.2%、前回18.0%）、「わかりやすい」（52.7%、前回42.3%）、「楽しい・面白い」（9.2%、前回5.8%）が増加しており、「表現が難しい」（4.9%、前回7.4%）が減少していることから、好意的な印象が増加していることが伺える。

問 11 今後「仙台市政だより」で扱ってほしい情報はどのようなものですか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

	回答数	比率
市の事業の紹介や制度の解説など	76	41.3%
市の施設の紹介や利用方法など	90	48.9%
健康、育児、教育など生活に役立つ情報	83	45.1%
講座や催し、展示会などのイベント情報	123	66.8%
スポーツ、レジャー、観光などに関する情報	68	37.0%
防災に関する情報	23	12.5%
自然、風土やまちの歴史	28	15.2%
地域の話や出来事	35	19.0%
地域で活躍する人やグループの情報	23	12.5%
歳時記、随想などの読み物	13	7.1%
その他	4	2.2%
無回答	2	1.1%

回答者数=184

- 今後、市政だよりで扱ってほしい情報としては、「イベント情報」が最も多く、次いで「市の施設の紹介や利用方法など」であった。
- 「市の事業の紹介や制度の解説など」は前回調査（平成28年12月：28.0%）より増加し、「スポーツ、レジャー、観光などに関する情報」を超えた。
- 前回調査では項目として無かった「防災に関する情報」は1割強程度であった。

問 12 「仙台市政だより」の各区のお知らせ（28～30 ページ）についてどう思いますか。

それぞれ、いずれかひとつに○をつけてください。

①ページ数（現在は 3 ページ）

	回答数	比率
多い	5	2.7%
ちょうどよい	142	77.2%
少ない	35	19.0%
無回答	2	1.1%

回答者数=184

○ページ数は、「ちょうどよい」が 8 割近くとなった。一方、少ないと回答した方も 2 割近く存在した。

②写真やイラスト

	回答数	比率
多い	2	1.1%
ちょうどよい	132	71.7%
少ない	45	24.5%
無回答	5	2.7%

回答者数=184

○ページ数は、「ちょうどよい」が 7 割を超えた。一方、少ないと回答した方も 2 割以上存在した。

○少ないと回答した方は、区ページの方が全市ページよりも多い。

③もっともよく読む記事

	回答数	比率
保健・福祉のおしらせ	40	21.6%
催しなどのおしらせ	136	73.5%
その他	4	2.2%
無回答	5	2.7%

回答者数=184 ※複数回答者 1 名

○「催しなどのおしらせ」であり、7 割を超え、「保険・福祉のお知らせ」よりもよく読まれていることが判明した。

問 13 年々、市の催しや募集などのお知らせ情報が増えており、「仙台市政だより」にすべてのお知らせを掲載することが困難になっています。また、発行にかかる経費や、冊子が重くなることによる町内会等の配布の負担が増加することから、ページ数を増やすことも難しい状況です。今後の「仙台市政だより」をどうするのが最も望ましいと思いますか。

いずれかひとつに○をつけてください。

	回答数	比率
特集やトピックスなどのページ数を減らして、すべてのお知らせを載せる	46	25.0%
催しやスポーツなどのお知らせは、専用のアプリで情報を配信するほか、別の印刷物にして公共施設などで希望者に配布する	41	22.3%
全市民に必要な情報を優先し、対象人数の少ない催しなどの情報は省略する	51	27.7%
掲載できない記事は、雑誌・フリーペーパーなどに掲載する	34	18.5%
その他	16	8.7%
無回答	3	1.6%

回答者数=184 ※複数回答者 7名

- 増加するお知らせの新たな掲載方法については、意見が分かれた。僅差ではあるが、「全市民に必要な情報を優先し、対象人数の少ない催しなどの情報は省略する」を選択した回答者が最も多かった。
- 「雑誌・フリーペーパーなどに掲載」は、前回調査（H28年12月:25.9%）では最も多く選ばれていたが、今回は2割を下回り、4番目となった。

問 14 「仙台市政だより」の発行には、年間約1億8千万円かかっています。インターネットの普及が進む中、現在発行している冊子の「仙台市政だより」の必要性についてどう思いますか。いずれかひとつに○をつけてください。

	回答数	比率
インターネットから情報を入手できれば、冊子による広報は必要ない	20	10.9%
公共施設や地下鉄の駅などに置いて、ほしい人が入手できればよい	65	35.3%
インターネットが利用できない家庭にだけ配布すればよい	19	10.3%
今までどおり各家庭に配布するべきである	61	33.2%
その他	26	14.1%

回答者数=184 ※複数回答者 7名

- 全体的に、前回調査（平成28年12月）とほぼ変わらない結果となっているが、「公共施設や地下鉄の駅などに置いて、ほしい人が入手できればよい」（35.3%、前回31.2%）が「今までどおり各家庭に配布するべきである」（33.2%、前回34.4%）を若干ではあるが上回った。

問 15 現在、「市政ラジオ番組」で仙台市からのお知らせ等を放送しています。聞いたことのある番組はありますか。 あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答数	比率
「仙台市民だより」(東北放送・毎週土曜日・午前 9 時 10 分～15 分)	23	12.5%
「ジョイフル SENDAI」(Date fm・毎週月～金曜日・午前 9 時 45 分～50 分)	26	14.1%
「せんだいラジオ通信」(ラジオ 3、エフエムいずみ、エフエムたいはく、らくてんエフエムの4局同時放送・毎週月～金曜日・午前 10 時 30 分～35 分)	17	9.2%
聞いたことがない	141	76.6%
無回答	1	0.5%

回答者数=184

○前回調査(平成 28 年 12 月)と同様に、市政ラジオ番組を「聞いたことがない」(76.6%、前回 73.0%)が大多数を占めた。聞いている番組は、「ジョイフル SENDAI」、「仙台市民だより」、「せんだいラジオ通信」の順であった。

問 16 今後「市政ラジオ番組」で扱ってほしい情報はどのようなものですか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

	回答数	比率
新たに始まる市の事業や制度に関するお知らせ	90	48.9%
税に関するお知らせ	37	20.1%
福祉・子育て・ごみの収集など暮らしに関するお知らせ	80	43.5%
市の施設や勾当台公園などで行われるイベントのお知らせ	100	54.3%
市が開催する講座や講演会のお知らせ	69	37.5%
防災に関するお知らせ	39	21.2%
その他	19	10.3%
無回答	6	3.3%

回答者数=184

○今後、市政ラジオ番組で扱ってほしい情報としては、「市の施設や勾当台公園などで行われるイベントのお知らせ」が最も多く、次いで「新たに始まる市の事業や制度に関するお知らせ」、「福祉・子育て・ごみの収集など暮らしに関するお知らせ」であった。

問 17 市広報課では、市政に関する情報を写真や動画付きでタイムリーに提供することを目的に、「仙台市広報課フェイスブックページ」を開設しています。こちらのページを見たことがありますか。

	回答数	比率
フォロー(お気に入り登録)をしており、よく見ている	2	1.1%
フォロー(お気に入り登録)はしていないが、よく見ている	3	1.6%
ときどき見ている	11	5.9%
見たことがない	158	84.9%
閲覧する方法が無い	12	6.5%

回答者数=184 ※複数回答者 2名

○広報課フェイスブックページについて見たことがない人が8割を超えたことから、広報課フェイスブックページの周知が進んでいないことが伺える。

問 18 今後「仙台市広報課フェイスブックページ」に掲載してほしい情報はどのようなものですか。
あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

	回答数	比率
市の事業の紹介や制度の解説など	57	31.0%
市の施設の紹介や利用方法など	60	32.6%
健康、育児、教育など生活に役立つ情報	91	49.5%
講座や催し、展示会などのイベント情報	104	56.5%
スポーツ、レジャー、観光などに関する情報	72	39.1%
防災に関する情報	34	18.5%
その他	17	9.2%
無回答	9	4.9%

回答者数=184

○今後、広報課フェイスブックページで扱ってほしい情報としては、「講座や催し、展示会などのイベント情報」が最も多く、次いで「健康、育児、教育など生活に役立つ情報」、「スポーツ、レジャー、観光などに関する情報」、であった。

○前回調査時(平成28年12月)と比べ、「防災に関する情報」(18.5%、前回33.3%)を選んだ方が減少している。これは、前回調査時は、「あてはまるもの全てを選んで○をつけてください」との設問であったが、今回は「あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください」に変更したことが原因ではないかと推測される。

問 19 市の広報に対するご意見やご要望がありましたら、ご記入ください。

→ 3. その他意見・自由意見の概要へ

3. その他意見・自由意見の概要

(1) 問5 普段利用している情報メディア その他意見

- ・公共施設に置いてあるチラシやパンフレット（他2件）
- ・ケータイのニュースアプリ（他1件）
- ・SNS(TW、インスタ、HP)
- ・知人の口コミ

(2) 問8-2 市政だよりでよく読む記事 その他意見

- ・市の補助的仕事等における市民活用の情報
- ・妻が関心を持った記事

(3) 問8-3 市政だよりを読まない理由 その他意見

- ・自宅に届かないため（他1件）
※上記のほか、その他を選択しているが、内容は空欄の方1名

(4) 問10 市政だよりの印象 その他意見

- ・非常に役に立つ（県政だより、市政だよりは市民に密着しており、大変役に立っていると思います。）
- ・分かりやすい。特に図や表を使ってくれている
- ・市の情報はここで得られているので外せない
- ・もっと育児についての情報や、お得な情報があると嬉しいです。
- ・未来を知りたい。計画や予定。仙台市はこれからどうなっていくのかの新しい情報が欲しい
- ・過去のこうしました。こうなりましたの結果ばかりで、つまらない。終了報告は、読みたくない。
- ・1月号でP12 国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の納付方法を変更の件がのっていたので12月の末に自転車で聞きにいったら、まだ決まっているのではないとの事。そんなのはのせないで下さい。早く行って申し込もうと思いましたがはずれました。決定のみ乗せてくださいお願いします。
- ・ちょっと、わからない時に TEL する

(5) 問11 市政だよりで扱って欲しい情報 その他意見

- ・花の教室を開催しているので、安価で集客できるイベント情報が知りたいです。（ワークショップなど）
- ・これから建設予定の学校情報や、こういった計画があります。楽しみにしていて下さい。などの情報が欲しいです。生きる力、生活の楽しみ、仙台に居続ける意味を、市民に感じて欲しい。一生住み続けたい街であるべき希望。若者の流出をくい止め、流入をうながし、輝く、都市仙台であるべきなのです。他のどこにもない安心・安全な都市をつくりましょう！
- ・公民館などのカルチャーを詳しく掲載してほしい
- ・市民広場のイベント情報

(6) 問 12 もっともよく読む記事 (各区のお知らせ) その他意見

- ・お知らせの中に障害者自立支援の更新などのことも載せて下さると嬉しいです
- ・まちの歴史
- ・全体を読むので特定できない

※上記のほか、その他を選択しているが、内容は空欄の方1名

(7) 問 13 市政だよりの掲載方法 その他意見

- ・基本的にすべてを掲載することにして、対象人数の少ない催し等についてはタイトルだけにして、詳細はホームページ等で案内する (他3件)
- ・冊子のページにアプリの URL をのせてくれると助かる
- ・省略ではなく、どこに行けば情報があるか簡単に載せる。
- ・①不要な方にはその旨の確認を明確にして不配にする②ネット配信の希望者を調査し希望者が多い時はその方々の対応を図り、内容の重実化する
- ・町内会で部数を減らせる様、不要な方、ネットで見られる方を集金や会合などで取り組んでいく
- ・町内会だよりで回覧板で回す
- ・「市政だよりに」どんな催し、募集のお知らせを、どんな印刷物に掲載する旨を明示した上で希望者に配布して欲しい。
- ・ページ数を40ページに増やし、2か月に1度の配布にする。
- ・広告が一部に載っているが、不要である。高齢者が増えている中、インターネット、ラジオ等で周知は周知にならない。市民が公平に情報を取得できる権利があると思う。ゆえに、お金がかかってもやるべきである。
- ・仙台市政だよりに、作成する方々がいちばんやりやすい方法が、市民相手にわかりやすいと思う
- ・まずは増えている情報を知らないと検討するのが難しい
- ・これから行われる行事のお知らせを省いてはならない。生活や潤いに必要な事は生きている証し。情報を与えられない事は死んでいるのと同じ。人は情報を与えられないと心も身体も死んでいくと思います。(孤独感)

(8) 問 14 冊子の市政だよりの必要性 その他意見

【「インターネットから情報を入手できればよい」に類する意見】

- ・印刷部数を減らし、ネット閲覧を推進する。
- ・大まかな内容だけは全て載せて詳細を知りたい人はQRコードやURLでネットの情報にアクセスして詳細を読めるようにするなど。配布をやめるとわざわざこちら側からネットにアクセスはしないと思う
- ・毎月投函されている冊子を読むのが好きなのですが、費用が莫大にかかっているようであれば、冊子をなくすことも考えて良いのでは。もしくは重要なお知らせだけ載せて、詳細はHPに載せて枚数を減らすなど、金額がかかりすぎている部分を考慮していくべき。
- ・希望者世帯のみ配布する。その他の市民についてはインターネットの利用を促進する。

【「公共施設や地下鉄の駅に置けばよい」に類する意見】

- ・選択肢2（公共施設や地下鉄の駅などに置いて、ほしい人が入手できればよい）＋町内会回覧で良い
- ・いつもフラッと寄る場所（スーパーや病院や駅・デパート・大手施設など）で「あつまだ今月号をもらっていないな」と思った人がもらえれば良い。外で働いている人も、中身を確認し易くなるのでは。平日・昼間に読める。昼休みとか。
- ・各区役所に置く
- ・公共施設へ置くほか、町内会の中でも希望者にのみ配布する。

【「インターネットが利用出来ない家庭に配布すればよい」に類する意見】

- ・高経費なのを初めて知りました。経費減を考慮しつつ、私たちにとって市政だよりは大変必要なものです。よって③（インターネットが利用できない家庭だけに配布すればよい）が一番近いのかもしれませんが

【「今までどおり各家庭に配布すべきと」に類する意見】

- ・おとしよりの家庭がふえていることや、ネットを使えない方もいますが→今までどおり配布必要ないという若い人たちには配布しない方がいいと思います。
- ・不要な人には配布しなくていいが基本各家庭に配布
- ・インターネットその他、発達してもやはり冊子も必要に思います。年代にもよりますか？
- ・公平性（税金も取ってますし）を考え、インターネットの出来ない家庭、高齢者などを考慮して、冊子は必要だと思います。インターネットにすると、見ない市民も増えていきます。
- ・欲しい情報は、人様々です。全家庭に配布するのが望ましいです。気づかない情報が多いです。出入りの多い仙台市ならではの方法を探して欲しい
- ・高齢者などは、取りに行くことが難しいので、各家庭配布がよい。
- ・ページ数を減らしてなんとかまとめ綴り、各家庭に配布するのが良いと思う
- ・なかなか地下鉄とかを利用しないので各家庭に配っていただけるとありがたい
- ・NETは使えるが、わざわざ開いてみない。各家庭に配布されているからすべて目を通してあるが、それがなく、わざわざ駅に取りにも行かないだろう。むずかしいですね。

【その他意見】

- ・不要な世帯から不要の届出ができるようにする。又は必要な世帯からの登録制度にする。
- ・配布希望の有無を聴取し、配布を希望する家庭にのみ配布する。
- ・一度、全市民に「配布希望の有無」を聞いては如何ですか？「配布希望しない方」が多ければ経費節約につながると思います。
- ・町内会単位で必要部数を求めることも一策かと
- ・ゴミが減る。欲しい人は返信してと手紙を送る
- ・冊子で読んでいる側からすれば、今まで通り町内会で届けて欲しいですが、読んでいない方が多いのであれば、無駄でしょうし。予防接種や福祉関連の情報は常に欲しいので、テ

レビやラジオで流してほしいです。

- ・ 1～4 どれも難しく簡単には選べない。マンション寮など回覧もありか。
- ・ 冊数を少なくしてもコスト低減につながらないと思います。コストの内訳を見ないと意見は言えません

(9) 問 16 ラジオ番組で特に扱ってほしい情報 その他意見

- ・ 聞かないので特にありません (他 10 件)
- ・ 必ず聞ける市民はあまりいないので、ここにかかる費用を市政だよりに振り向けたらどうですか。
- ・ 交通機関の情報を充実すること
- ・ 時間が決まっているラジオは聞きのがすことが多いのでいけない
- ・ ラジオは聞く習慣がありませんので必要性を感じません
- ・ NHK なら聞けるが、それ以外は今のところ聞くつもりはない
- ・ ラジオが無いので聞いた事がない
- ・ ラジオの時間に付いて、夕方を入れてください。6 時ごろとかに NHK 第 1 のラジオを毎日聞いてますので判りかねます
- ・ 市政だよりは、ほとんどの人がみえています。

(10) 問 18 広報課フェイスブックで特に扱ってほしい情報 その他意見

- ・ 閲覧した事が無い (他 3 件)
- ・ フェイスブックを利用していない為、分かりません (他 2 件)
- ・ 見る機会がない (他 1 件)
- ・ 見られる環境にない (他 1 件)
- ・ 仙台市出身の芸術家が多いが、仙台市の関心がきわめて低い、ジャズヘステイバルの源泉地でありながら、仙台出身のケイ赤城氏などの世界的ミュージシャンを大切にしていない、他市に取られている。現代音楽について同様である。もっと視野を広げ力を入れるべきである。
- ・ 新たに始まる市の事業や制度に関するお知らせ
- ・ わざわざフェイスブックページには行かない

※上記のほか、その他を選択しているが、内容は空欄または「特になし」と記載している方 3 名

(11) 問 19 自由意見の概要

【市政だよりの内容について】

(要望)

- ・市政だよりは、写真やイラストを使いもっと目を引く、興味が持てるような誌面にしてほしい。休日当番医は子供がいるとあると助かる。イベント情報や講座は内容が少ないので、どっちみちHPで詳しく見る必要があるのでQRコードが付いていると便利
- ・各区のお知らせについて、住んでいる区以外の情報も知りたい。(若林区に住んでいるが、青葉区や宮城野区のイベントに参加する機会の方が多い。)
- ・文字の大きさを以前からもう少し大きくできないものか? 年を重ね、メガネにたよる日々、仙台市政だよりにいっぱい(余白分をつかって印字できないものか?)を願っています。
- ・様々なイベントが、いつどこで開催されるのかわかりにくい
- ・講座、催しコーナーによく申し込むが抽選の為、はずれてばかりいるので人気の講座、催しものは定員を増やしていただきたい。
- ・2-3年前だったか、勾当台のグリーンハウスに新年に企画された角松づくり(だったか、お正月飾りだったか)に先着〇人とだけ書いてあって、直接行くものだと思って行ったら、申込の先着〇人ということだったらしく、当然当日行ってもできなかった。その時1才くらいの子と小学生の子をつれて急いで向かったのでできなくて悲しかった。短い文章でも、落ち度なく分かりやすく記載してほしい。
- ・班長さんが高齢やお仕事された時など、市政だよりが遅くなり、参加できないこともあります。特に、月始めのことなどは前々月市政だよりにのせて下さるとうれしいです。そのようにして下さるところもありますが。休日当番医は第二週あたりまでだとうれしいです。市民も自分で考えてやれるところは自分で調べてやっていこうという気持ちも大切です。市政は情報を速く正確に伝えてくださることをさらに期待しています。いつも感謝しています。
- ・現在、青葉区赤坂に住んでいますが、勾当台で開かれるイベントより、泉区根白石市民センターで行われる講座のほうが行きやすいので、区が違ってても行きやすい場所の情報がほしいです。
- ・老人の参加を考えてほしい、いつも出演する人が決まっている。才能のある高齢者は多く存在している。発掘し利用してほしい。
- ・イベント情報も大事だと思うが、税に関することなどをもっと取り上げてほしい。どのような制度があるかなどの枠が小さいように感じる。
- ・子供と一緒に楽しめる読み物があると嬉しい。例えば仙台の風習、歴史に関するものや、子供が興味を持てるようなイベントについてなど、読みやすい文章で掲載して欲しい。小・中学生向け希望
- ・市民生活に直結するお知らせ中心の記事を希望します。歴史などの特集は興味ある人がホームページなどでいつでも読むことができるようにアーカイブにするといいと思う。
- ・少子高齢化の時代、情報を的確に、早く伝えるためには、どうすればいいのか。特に防災についてだと思います。できるだけ、防災のための講演会、町内会に出向いての防災意識を徹底するといいと思います。
- ・市民が役に立つ情報をこれからも発信してください。各年代で利用できるお得情報などがあれば分かりやすく掲載していただけると嬉しいです。また各種手続き方法の分かりやすいチ

ャートのようなものを永久保存版のようにまとめてあるものがあると助かります。たとえば相続が生じたときの手続きの仕方や、介護が必要になった時の手順など。

- ・市政だよりのお知らせ欄について、申し込みが必要なものと直接会場に行って参加できるものと分けてほしい。前の方には申し込みが必要なお知らせを寄せるなど。
- ・現在実施している内容等を継続してほしい。
- ・3月頃に1年間の取材の意見を→交流されたらどうですか。
- ・「市政だより」をもっと充実して大事にしてほしい。
- ・これまでの作成上の経験から捨取選択し、よい方向に向けて努力している姿勢が伺えますので、現状でよいと思います。
- ・区別にしないで仙台市全体の共通項目で整理するようにしたらいかがでしょうか。区別の差し替え部分があると、製作コストが上がるのではないですか。
- ・経費削減になるなら、市政だよりをカラーではなく全て2色刷りにしてはどうですか？必要なのは情報なので、表紙等のカラー印刷はムダだと思います。

(感想)

- ・私は、市政だよりを毎月楽しみに待っております。行政情報を入手できる唯一で、感謝しております。特に、お知らせの中で、募集、講座・催しを注視して見えています。
- ・確かに便利な世の中になり情報はインターネットやフェイスブックで見ることが可能ですが、市政だよりの表紙の写真をみると、季節感や地域のあたたか味を感じ、ホッとします。必要な時に、何度もめくっています。ありがとうございます。
- ・毎月、講座や催し、イベント情報が役立っています。今後さらに充実されることを期待します。
- ・現在の広報内容で満足できます。
- ・利用出来る行政サービスがたくさんあるので、とても役立っています。ご苦労は多いかと思いますが、これからも楽しみにしています。
- ・仙台市政だよりの最終ページに当番医や急患センターなどの情報を毎月掲載して頂いていることは有り難いです。毎回同じ場所に掲載があることは、いざという時に探しやすいです。
- ・市政だよりに多額の経費が使用されていることにびっくりしました。

【市政だよりの配布について】

(一部の情報をインターネット等の別媒体にすればよい)

- ・資源のことを考えるとペーパーフリーにするべき。しかし、NETだけでは、見る人・見ない人・見られない人がいて、市のサービスが公平にならない。ペーパーはそのまま配布して項目(題名)だけを載せる(市長の言葉、対談も全て)。その詳細については、HPなりQRコード化すればコストもだいぶカットできるのでは？
- ・市の広報は、これまでもずっと続いてきてこれからも継続するものと思っていました。が、情報量の増大とか経費が掛かるとか課題があることが分かり、いろいろと考えさせられました。問13にある、「3 全市民に必要な情報を優先し、対象人数の少ない催しなどの情報は省略する」は一つの対応方法かと思います。
- ・「市政だより」への掲載は必要最小限(市民に是非知っておいてほしい点)に限定し全戸配布。

イベント等のお知らせは①市のホームページに掲載 ②チラシ等にまとめて公共窓口配置

- ・お金がかかっているとの事ですが、毎月の表紙の写真は不要ですから、はじめから情報を載せて簡潔にしてください。年頭の著名人との花バックの対談類も不要です。それこそ見たい人はwebで見るとはいいのでしょうか。その予算を削り箇条書きばかりの情報が少しでもわかりやすい様、そちらに写真を載せるとか、ページを減らすとかしたらいいと思います。町内会班長になると、市政だよりを配布します。同時に県の発行分、水道局、ガス、電気、町内会、他に例えばユニセフだとか防災、時期時々により多種に渡ります。紙質も厚さも様々なものを、班長が家庭で一戸分づつ取り揃えて、持ち回り、配るのは班長になった年寄りには大変です。回覧で済む物もあり、ゴミも増やしていると思います。市政、県政、水道局、ユニセフとページを分けて同一紙に掲載する、など何処かが口火を切ってまとめたら如何でしょうか。いつまでも縦割りの古いままでは立ちゆかなくなっていくでしょう。地下鉄や市民活動スペースに置かれている分もいつまでも余っていると見えますが、無駄だと感じている人は多いです。印刷部数を減らすとか、活用されていない現場を見て回り、バツサリ減らせば宜しいのではないかと感じます。

- ・町内会の会員高齢化もあり「市政だより」の配布が困難な場合も生じてくるものと思料。負担軽減の為にもインターネットの利用を促進させるべき。タイムリーな情報も入手できる。
- ・市政だよりは必要な人が駅や区役所に取りに行く又はインターネットから情報を取得で良いと思う。今町内会役員が減り、配布する人も少ないので負担が非常に大きい。

(公共施設等に置いてほしい)

- ・市政だよりが家に届きません。届いていない家庭も現状ですすでにあるので引越し時に希望をとって欲しい人にだけくばり、他は駅や区役所などに置いて見たいときに見られるようにしたいと思う。
- ・情報を必要としている人に伝えればいいのかと思います。なので、地下鉄とか電車の構内においてるだけでよいと思います。
- ・町内会に入っていないので自分で必要な時だけ市政だよりを読んでいます。西友とかララガーデン等にも置いていただきたい。私は、郵便局に行っています。
- ・「市政だより」大好きです。毎月楽しみにしてるくらいです。各家庭に配布するのはたいへんだと思うので半分位にして生協等スーパーにおいて頂ければお年寄りの方も良いかな？と思います。
- ・私はTVがないので助かってます。しかし、環境面や最近のペーパーレス化からページ数を減らすことや部数を決めて駅などのラックに置くで良いのかなと思います。そうすれば経費は下がります。確かに専用アプリやHPを作る手間はかかるし、反対もあるかもしれませんが。しかし、「環境」と唱うことで納得もしてもらえるかと考えます
- ・市政だよりを配布するのは町内会としても大変。必要な人だけが、市民センター等からもらっていくという形でよいと思う。1億8000万もかかっていることに驚いた。
- ・市政だよりは町内会で配布しなくても必要であれば、公共施設やコンビニなどから入手したりして、配布漏れや配布忘れで不要になる広報誌の無駄をなくしたり、他県での取組なども参考にしてみるのはいかがでしょうか？
- ・ホームページを見られる方法がない家庭もあるので、私は地下鉄の駅や公共の施設で市政だ

よりを頂くのが一番と思います。地区の班長さんが各家庭に配布するのは、個人的にうれしいが、高齢者が多くて負担になっている家もあります。

- ・「市政だより」は、インターネットなどの利用が難しい家庭（お年寄りなど）にのみ配布し、必要ならば区役所、地下鉄の駅などで手に入れられるようにし、費用削減をはかれたらと思う。

（全戸配布をしてほしい）

- ・町内会に入っていない世帯に市政だよりが配布されず、必要な情報が入手できない現状があります。もう少し、インターネットが利用できない世帯・町内会加入の対象から外れている世帯・外出が難しい高齢者世帯への配慮をお願い致します。（私は駅で入手しております。）
- ・HP や FB より、紙媒体の市政だよりがいつでもめくって見れて便利。不要な人がわかるよう、不要シールを配布して、郵便受け等に張って、それ以外に配布するようにしてもいい。ただ、健診申込みの関係でその号は全戸配布せざるをえない。
- ・市の情報は各戸に配布される「市政だより」で得ています。今まで通り、全戸に配布していただきたく希望します。
- ・「仙台市政だより」に約1億8千万円もかかっていたとは知りませんでした。問14では「ほしい人が入手できればよい」としましたが、その中でも全市民にとって必要な情報があれば1~2枚のチラシとして、全世帯に配布していただく形にすればありがたいですし、少しはコストカットになると思います。
- ・どの家庭にも知ることができるようにしてほしいです。お金がかかってしまうことも十分わかっていますが・・・。
- ・①予算がなくなっても各家庭に配布すべきである。②各区の情報も、各区で工夫して広報して下さい③この場合、必要な人は区役所の広報にとりにゆきます。④区ではあまり市民の意見をよく耳にしないという意見がよくあります。
- ・今後益々高齢化が進む中で、一人暮らしの高齢者が増加していくものと思います。また、外出する機会も少なくなると思います。従って、基本的には従来通り「市政だより」は全戸配布して欲しいものと思います。しかし当然経費の問題もあると思いますので、ページ数を減らして、最低全市民に知って欲しい内容に限定する等の工夫も必要になると思います。年間1億8000万円は高いのか安いのか（必要経費）は議論の余地はあるところかと思っています。

（その他）

- ・なるべくお金がかからない方法で、さりげなく変えていくといいと思います。オリンピックキャラみたいを選んでない人が「やっぱりあっちがよかった（怒）（泣）」と思わせないように、そちらで決めてたほうが、「（怒）（泣）」がないと思うと思います。また携帯で十分だと思います。すてられたらとても、もったいないと思います。ゴミが増えます。
- ・発行回数の見直し、配布方法の検討、配布する家族の見直し→例えば、広報誌は年齢を加味する
- ・市政だよりは、コンビニや地下鉄の駅に十分な数が置いてあるので、全戸配布は不要だと思います。宮城県政だよりのように2カ月に一度の発行でもよいと思います。
- ・自宅に仙台市政便りが届いたことがない（特別不便に思ったことはないが、問14に現時点で

は全家庭に配布しているかのような文章があったためコメントしておきます)

- ・ 市政だよりは毎月楽しく見させてもらっています。経費がかなりかかっていることを知り、今後は何かしらの改善が必要だと思います。
- ・ 広報誌は毎月楽しみにしていて、全ページ読みます。特に講座やイベント情報は外せない分野です（安い料金で参加できるので）。ただ、必要としない家庭もあると思います。高経費なもの大変気になりました。必要な所にだけの配布も難しいように感じます。全国の他市ではどのようなのか？そんな所も参考にしながら経費減を追求して行って欲しいと思っています。
- ・ 特にありません、予算が許す範囲で現行のスタイルでよろしいです。

【市政だよりの必要性について】

（冊子を残してほしい）

- ・ 基本の部分（市から市民への連絡）はまだまだ冊子としてのこしてほしいです。町内会にはいない、新聞もよまないという人がふえてる中で、どのような手段で市民に知ってもらえるか。やはり知らせるものによって使いわける方法をとるしかないような気がします。市民センターや大手スーパー生協などへの掲示板方式（原稿はもちろんメールで）も是非活用できないでしょうか。
- ・ インターネットやホームページ等メディア活用の情報は、日常の中で常にチェックする事が前提で、若い人でも必ずしも必要時にチェック出来ない事が多いとの事。特に、高齢者の場合は、スマートフォンすら利用しにくいのでやめたとの人も多く聞くので、やはり活字による広報が個人の必要に応じて活用出来るので大切と考える。（スマホ等の情報化は、一方で危険も伴うので、むずかしい面もあります。）
- ・ 冊子で配ってもらえるからこそ、自ら手にとり、じっくり読み知ることが出来ます。全てがインターネットの時代、市民全員を考える市だからこそ、どのような人も見れる、手にとれる情報を大事にしてほしいと願います。
- ・ 現在の「市政だより」は全般的に、市政の知りたい情報満載で、毎月楽しみに待っています。経費の負担もあるかと思いますが、継続配布をお願いします。
- ・ 市政だよりがなくなったらこまります。ネットよりやはり紙の情報大切です。
- ・ インターネットが普及しているとはいえ高齢者や経済的状况等で使えない人たちもいるので全てをネットに頼るのは難しいと思う
- ・ 毎月市政だよりが配布されるたびに目を通します。紙媒体は目的の情報を探すときに他の情報も偶然目に入るので、インターネットで目的の情報を検索するより、大変有効だと思います。ここには税金を使っただいていいと思います。
- ・ インターネットの利用出来ない人も多数います。特に高齢者はペーパーベースの方が手元に置いて必要な時に再度見られます。災害時は停電等もあり、使用出来なくなります。広報の配布をお願いします。
- ・ ほしい情報は印刷物で見の方がインターネットで見るともゆっくりで落ち着いて見ることが出来る。「仙台市政だより」を読むことが楽しみになっているのでぜひ継続して欲しい。インターネットやラジオで情報を即時的に流す必要性はあまり感じません。
- ・ 市の情報は「仙台市政だより」からと位置づけており、毎年楽しみにしており、配布後は全

頁読んでいます。経費等の問題もあり大変だと思いますが、配布方宜しくお願い致します。

- ・毎月配布される「市政だより」を楽しみに拝読しています。1月号の新春対談は映画監督の岩井俊二さん。仙台が生んだ逸材、人選がすばらしい。今月号は永久保存版だと思っています。1億8千万円もの経費は、削減の余地が多少あるかと思いますが、仙台市民が市政の今を知ることができる貴重な広報誌をなくさないで欲しいと願います。
- ・インターネットだけにすると、突然インターネットが使えなくなったりした場合にとっても不便になりそう。またパソコンよりも紙の方が読みやすい。たとえ全家庭に配布できなくても、市営地下鉄などに置いて紙媒体で欲しい人のことを考えてくれると嬉しい。
- ・インターネットが普及し、スマートフォンで見える方法もあるかもしれないが、従来の紙の広報だと読みやすく、お知らせなどを忘れないよう切り抜き掲示しておくなど（家族とも情報を共有しやすい）できるので良い。若い人なら良いかもしれないが、仙台市ではお年寄りも多く、何でもデジタル化ではなく、アナログの方が良い場合も多い。
- ・このアンケートにて初めて市政ラジオ番組があることを知りました。インターネットでの情報提供が当たり前になってきていますが、まだ年配の方などには普及しておらず、紙面の情報だけが頼りな方も多いかと思えます。ちなみにうちの両親もそうです。
- ・インターネットだけにしてしまうと能動的にアクセスしたひとにしか情報が受け取れない。概要だけでもみんなが受動的に公平に情報を得る権利があるので市政だより廃止は反対です。

(冊子は必要ない)

- ・1億8千万円も年間かけていることを初めて知りました。正直ムダだなと感じますので、どうか縮小してちがうところへ、あててほしい。
- ・こんなに市政だよりに費用がかかると知りませんでした。若い人は冊子をあまりよまないのので、ネットで見て部数を減らした方がいい。
- ・市の税金の活用方法について、もっと吟味されていくべき。冊子を配る手間や時間、費用を考えたら、ネットに集中し、冊子を辞めていく方向で考えるのも手である。市役所に必要部数を置き、市政だよりが更新されたらHP上でお知らせする、など考えていくべきかなと思いました。個人的には冊子を読むのが好きではあるが、税金を考えると贅沢は言えない。

(その他)

- ・毎月市政だよりを必ず読んでいます。子供が生まれ仙台市に再転入してきた際は、特に市政やくらしの情報がそろっていて大変助かりました。私達の生活も仙台市の市政も止まることなく変わっていくので、形はどうあれ今とこれからの情報を定期的に届けて頂きたいです。
- ・市政だよりに年間1億8千万もかかっている事にびっくりしました。毎月、ポストに入ってくるので、わりと気軽に読んで情報収集もできるので楽しみにしていました。ただ、この費用がもっと有効に使える様になればいいなと思います。
- ・時間的に余裕もあり、市政だより、市の広報紙で得た情報を生かし、イベントに出かけることに。広報は必要欠かせないもの。が、地下鉄で見かけるスマホ片手の人々を思うと、時代は変わりつつあるようで、広報の在り方について一考（検討）を要する時期に来ているのかも知れませんね。
- ・どんな立派な市政を行ったとしてもそれを知らしめる広報なくして市民の理解を得ることは

とても難しい。超高齢化社会構造を考えると広報の仕方をどう捉えていくか、なしにはならないがメディア発展世界の中でどう整合していくかが問われる、なかなか難しい問題であるがアクティブな考え方で、使い分けを模索するメディアの使い分け、コストを意識しながらどうバランスをとっていくか、もう少し時間が欲しい問題である。

- ・前回定禅寺通りの東京エレクトロンホール近くのコンビニローソン前に生ゴミ入れ箱を置いていること又、メディアテーク近くの花屋が樹木に花を並べていること、これらが景観をこわしているので改善してもらいたい旨記したが市の対応の跡がみられず残念である。広報は市民との大動脈ある。広報担当職員は常に市民ファーストであってほしい。毎月の発行に当たり大変なご苦労と思いますが、市政を知り得る我々の唯一の手段であるので、これからも頑張ってください。広報を通して行政の情報の一部であるが開示していると思われることから弱者にとって有一の手段が奪われるので広報紙は絶対廃止すべきでない、広報予算の削減前に他の無駄をする努力をすべきである。
- ・年齢層で情報を得る方法が違うので、市の広報をどのように知るか、それぞれが選択する事も今後はあると思います。
- ・市政だよりをいつも見ていますが、届くから見ていますが、届かなければ手に入れてまでは読まないかもしれません。調べたい事があればネットで調べますが、今後市政だよりが配布されないと市政との繋がりがなくなってしまうような気がして少し不安になりました。でもかかる費用がそんなに高額とは知らず、今後対策は必要かなと思いました。
- ・現在の市政だよりはとても良くできていて不満はありません。発行にたくさんのひようがかかっていることに驚きました。紙である必要が無くなる時代なのかとも思うが手元でじっくり読みたいとも思う。
- ・市政だよりの費用削減は理解できます。が、始めたキッカケがわかれば、自ずと何が必要か削減でき、また次号に持ち越すのも如何でしょうか。

【市政情報の周知について】

- ・情報格差による不平等が生じない様に、広報による情報周知を期待しております（プレミアム商品券の時は周知不足を感じました）
- ・ラジオ番組で市政の話聞いても頭に残りにくいし、想像もしにくいので興味が湧かないと思いました。
- ・フェイスブック以外の方法を取ってもらったらよく見ると思います。
- ・いつも御苦労様です。楽しみに拝見させて頂いております。市民が困った事があった時に、一番に相談できる機関であって欲しいです。2番目、3番目、4番目・・・であってはならないと思います。信頼できる、仙台市を目指して、市民が悩んでいる時、いつも助けてくれる機関である事をアピールして欲しいです。
- ・さまざまな SNS やアプリを通して最新の情報が手軽に入手できるようになると便利だと思います。
- ・月に1回程度、市民センターや図書館などで、興味のある印刷物のお知らせを収集し、実際に参加したりしています。あとは、メール配信サービスがわりと有効で、それがきっかけで講座に申し込んだりイベントに参加したりした経験もあります。メールは、全ての情報を得られているとは思いますが、受け取りたい情報だけ選べるのがいいと思います。

- ・広報部の年度目標及び自己評価が市民と共有した方がいいのでは。市民と一体になって広報活動できればと思います。
- ・新聞（河北、読売、朝日、毎日の各紙）に「仙台市情報コーナー」として記事として掲載してもらえないものか？
- ・どうしても場合は、直に電話しますが、もう一度聞きたい時に困ったりするので、朝とか夕方とか数度ありと助かりますがどうでしょうか
- ・年間決まっているものは冊子にしてほしい。
- ・テレビを見ることが多いので、一定の時間に字幕スーパー？等で流したり、短時間番組にしたりなどして、情報を提供して欲しい。携帯電話やパソコンを持っていない市民のことを忘れないで欲しい。
- ・生活に直接関わる市政の情報は、毎月の町内会の活動報告の中で回覧されています。急ぎの案件は緊急回覧もあり、大変有り難いと思っています。新しいメディアの取り組みも大切ですが、町内会との連携も見直されては如何でしょうか。
- ・インターネットは、誰もが使えるとは限らないのでテレビや、ラジオを活用して欲しいです。
- ・各区毎の冊子を仙台市としての広報で発行してはいかがですか。
- ・SNS, アプリの活用
- ・ラジオはあまり聞かないし、Facebook も初めて知りました。市政日より、マンションで各戸に配布されていますが、すぐに資源回収に出ている＝読まれていないものが多々あります。莫大な経費もかかっていことだし、もう少し広報のやり方を改善すべきだと思います。インターネットで情報提供するのであれば、それを周知させる必要があると思う。地下鉄等公共機関だけでなく、身近に利用するスーパーや病院等偏りのない場所に配布したり掲示することで、市政便りを減らす方向で検討してもよいのではないのでしょうか。新聞ですら、若者は電子版になったり、高齢者は読みにくい、処理に困るとやめる方も多いようですから。

【その他】

- ・特になし（他2件）
- ・市の広報について直接ではないが、「市政モニターアンケートの実施について」には1/24までにポストに投函してくださいとあり「仙台市の広報に関するアンケート調査へのご協力のおかげ」には1/24までに返信とあり、1/24に市にアンケートが届いていないといけないように読み取れる。一通の手紙でも、このように部署によりバラバラな対応で、それを毎回統一しようとしなのは、いかにもお役所の縦割り組織の仕事という感じがする。
- ・各庁・コミニティーに毎月・日夜、置く案内・連絡事項の書類等々ですが、あまりにも多過ぎではないでしょうか？いつ見ても余っているように思えてなりません。もう少し経費削減の為にも無駄のないようにできないものですか。
- ・去年暮れに固定電話から●●●-●●●●にTELしたらこんでいて●●-●●●-●●●●からTEL来たのにはびっくりしました。宮城県でなくて東京からなんですね、使用してみてもわかりました？インターネット使えない人はこれから生きられない暮らし？覚える気もありません。いつも主人がしていてキカイはありますが
- ・フェイスブックページの活用を図りたいと思います。